

これからの横芝光町

No.1

今後の行政サービス・事業
展開をお伝えします

小学生医療費無料化「町民サービスセンター」を開設

「横芝光町」が誕生して早一年六か月が経過し、合併後の各施策についてはほぼ順調に推移しています。

町では、「未来を創る住民の視点で！」をモットーに、昨年10月からの小学校6年生までの医療費の完全無料化を始め、今年4月から土・日・祝日など、休日でも夜8時まで住民サービスが受けられる「町民サービスセンター」の開設、4郵便局での諸証明発行業務など、職員一丸となって推進し、現在も、妊産婦検診の5回までの無料化についての検討を進めています。



▲将来の子供たちのために

中学校建設・栗山川
架橋などに着手

今後、新町設計計画や現在作成中の横芝光町総合計画に基づきながら、それぞれの施策が順調に進捗できるように推進していきます。

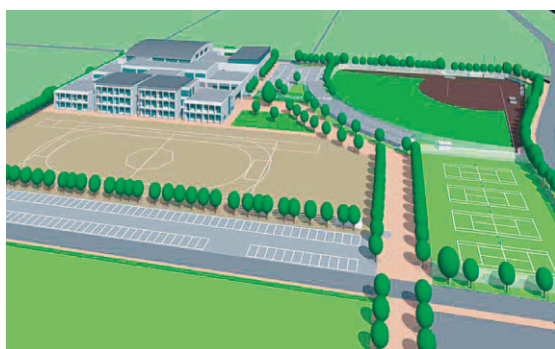
計画中の事業としては、特に大きなものとして「横芝中学校建設事業」、「長塚・北清水架橋工事とその取り付け道路建設事業」、「栗嶋

橋架橋工事とその取り付け道路建設事業」、「一号线用水路のパイプライン化に伴う道路整備事業」などがありますが、このほかにも、下総線バイパスの延長によって栗山地先を南北に走るII-10号線道路の整備事業や、篠本新井地区の240haにも及ぶ広大な水田のほ場整備事業、統合の学校給食センター建設事業などがあります。また、まだ本採択ま

では至っていませんが、「横芝駅前交差点改修事業」や駅前広場拡張事業についても、現在、千葉県との折衝を重ね、できるだけ早い時期に着工できるように努力しています。

行財政改革で経費節減

これらの事業は、予算の



中学校完成予想図

大部分を国・県からの補助で賄ってもらう事業であり、合併特例債を利用できるだけでなく成し得ないものですが、合併特例債は、一時的には町の借金が多額になるなど、財政基盤の乏しい我が町にとっては、特にこの5年間で財政的に最も厳しい状況となるものと思

います。しかし、これらは『未来・将来の横芝光町』の発展のためにはどうしても行わなくてはならない施策であり、町では、合併後のこの2年間、職員採用は、20名の退職者に対し1人の採用もせず、また、副町長人事についても凍結するなどして経費節減を図っているほか、入札制度の抜本的な改革など、様々な角度からなお一